

「買取大吉アジア男子バレーボール選手権大会 福岡2026」大会運営業務に関する質問への回答		
1	実施要領P3「(2)スケジュール」では企画提案書受付締切が7月16日(木)、書面審査が7月17日(金)と記載されているが、P4「(6)企画提案書等の提出」イでは提出期限が7月15日(水)17時、エの審査日程が7月16日(木)と記載されており、日付が一致していない。正式な提出期限・審査日程を確認したい。	P4「(6)企画提案書の提出」記載の提出期限が誤りです。以下のとおり訂正します。 (誤)イ 提出期限: 令和8年7月15日(水)17時まで(必着) (正)イ 提出期限: 令和8年7月16日(木)17時まで(必着)
2	委託上限額376,658千円(税込)は、仕様書別紙に記載された技術要件(VCS、スコアリングシステム、電子スコアボード等)の調達・設置・回線費用を含む前提か確認したい。	VCSおよびスコアリングシステムならびに電子スコアボード(LED・大型映像)につきましては、主催者にて調達・設置を行います。 VCSおよびスコアリングシステムについては、回線費用をお見積もりに含めてください。 また、電子スコアボード(LED・大型映像)につきましては、架台の設置、回線費用をお見積もりに含めてください。
3	見積書は任意様式とされているが、見積の粒度(一式表示か、業務分野別の内訳明示が必要か)について指定はあるか確認したい。	特定の指定様式はありません。最低限、仕様書に記載されている項目ごとの予算感が確認できる形でご提示ください。
4	仕様書別紙内で頻出する“Local Host”は、本業務の受注者を指すという理解でよいか確認したい。	組織委員会や受託事業者を指します。
5	VCS(チャレンジシステム)およびスコアリングシステムの機材・技術者自体はAVC/VWが独自に手配するものと理解しているが、電源・インターネット回線・テーブル・椅子・空調等のインフラ整備は受注者の業務範囲に含まれるか確認したい。	こちらは受託事業者の業務範囲に含まれます。
6	電子スコアボード(VolleyStation等、最低2台・推奨4台)の調達主体はAVC/VWか受注者か確認したい。	調達主体は、組織委員会ですが、本件業務の受託事業者ではありません。
7	大型映像装置(LED等)の演出・映像コンテンツ制作は主催者(AVC/VW)が別途手配するものか、受注者の業務範囲(仕様書6.5.5等)に含まれるか確認したい。	演出・映像コンテンツ制作は、組織委員会が手配しますが、本件業務の受託事業者の業務範囲には含まれません。
8	放送局(フジテレビ予定)の中継設備(OB車、ケーブル配線、電源)の設置・費用負担は放送局側が別途行うものか、受注者が仕様書別紙の“Broadcaster”関連項目を含めて対応する必要があるか確認したい。	中継設備からのケーブルルートの検証サポートは受託事業者の業務範囲に含みますが、それ以外の項目は放送局が担います。
9	北九州市立総合体育館の既存設備(更衣室数、シャワー数、トイレ数、既存電源容量、既存Wi-Fi/LAN環境等)について、AVC/VWライダーが求める仕様(更衣室4室30㎡等)との差分(新設が必要な範囲)を確認したい。既存設備の図面・仕様資料の提供は可能か。	体育館のホームページをご参照いただいた上で、提案者のこれまでのご経験や知見等に基づいたご提案をお願いします。
10	トレーニングコート(Training Court 1・2)は競技会場内に確保されるのか、別会場を用意する必要があるか。別会場の場合、場所・規模・既存設備の有無を確認したい。	Training Court 1は北九州市立総合体育館 第二競技場、Training Court 2は北九州パレス(福岡県立北九州勤労青少年文化センター)をすでに手配済みです。また、Training Court 2は照明の照度、高さ、面積についてはAVC/VWの承認を得た施設(設備)になります。
11	フィットネスジム(ライダー要件: 理想400㎡)は競技会場内・チーム宿泊施設近隣のいずれで確保するか。仕様書6.5.14「一部施設既存機材流用」とは具体的にどの機材を指すか確認したい。	受託事業者確定後の会場視察にて内容をご確認いただき、その後、主催者と場所や必要機材の調整を行った上で最終決定となります。なお、『一部施設既存機材流用』と記載のあるものは、体育館内のジムにある既存機材を指しています。
12	ウォームアップコート(2面)の設置場所・仕様(フローリング等、ライダーでは3時間以内の連戦時に必須)を確認したい。	本大会は競技スケジュール上(仕様書別紙参照)、ウォームアップコートの設置は不要です。
13	会場の設営・撤去に利用可能な日数・時間帯(設営期間)を確認したい。イベントスケジュール上、Match Day-3以前に会場入りは可能か。	可能です。すべての受託事業者が決定後、各準備作業のスケジュール等を考慮した上で最終決定します。
14	ドーピングコントロールルーム(40㎡・3区画)は既存の部屋を転用するのか、新設が必要か確認したい。	受託事業者が決定後、会場での現地調査等を行っていただき、受託事業者のこれまでのご経験や知見等に基づいたご提案をお願いします。

15	VCS専用インターネット回線について、会場の既存インターネット環境で対応可能か、専用線の新規契約が必要か確認したい。	専用回線の新規契約が必要です。
16	スコアリングシステム用(200Mbps以上)、VCS用、放送用等、複数の通信要件が並存するが、会場全体で確保すべき通信容量の総量について主催者側で整理された資料はあるか確認したい。	該当の情報につきましては、受託事業者が決定後に開示する予定です。なお、放送用以外のものにつきましては、受託事業者にて手配をお願いします。
17	既存の場内分電盤で仕様書別紙記載の技術要件(VCS、スコアリングシステム、LED、電源車等)の電源容量を満たせるか、容量不足の場合の対応(電源車増設等)の費用負担者を確認したい。	別途、電源車の増設等の手配が必要です。こちらにかかる費用については、受託事業者のご負担となります。
18	1日の来場者数、関係者数、選手・役員数、VIP人数、メディア人数を確認したい	現在の想定人数は以下の通りです(今後の状況により増減する可能性あり)。 ・来場者数:日本戦:最大6,000～6,500人 日本戦以外:チケットの販売状況により変動 ・関係者:700～800人 ・選手・役員数:350～400人 ・VIP:50～100人 ・メディア:100～150人
19	ボランティアの必要人数規模、および組織委員会側で既に募集を開始しているか確認したい。受注者の業務は名簿管理・当日配置が中心(仕様書6.12)で、募集自体は組織委員会が行うという理解でよいか。	ボランティアは各日3～40名の2交代制の規模です。組織委員会側では、現段階では募集を開始していません。委託業務内容については、お見込みの通りです。
20	警備員・整理誘導スタッフの必要人数の目安(会場規模・想定来場者数から)を確認したい。	基本的にはご提案をベースとします。会場は仕様書に記載の通りで、日本戦の想定来場者数は最大6,000～6,500人です。会場視察後に配置人数や場所に関する案をご提出いただき、主催者側と調整の上、最終決定します。
21	手荷物検査の実施レベル(全員、抜き打ち等)を確認したい。	基本的には、全員を対象とする予定です。
22	メディカルスタッフについて、FIVBメディカルチェックリストに定める人数要件(試合・練習時の医師常駐等)を満たす必要があるが、既に協力医療機関・救急搬送体制の目途はあるか確認したい。	現在のところ定まったものではありません。受託事業者が決定後、関係団体と調整の上で最終決定します。
23	関連イベントに関して日時は同日程で行われるのか事前イベントを想定しているのか確認したい。	同一日程での実施です。
24	賑わい広場とは同場所を想定なのか別場所を想定しているのか確認したい。	同じ場所での実施です。
25	キッチンカーの台数の目安を確認したい。	基本的には、提案者のこれまでのご経験や知見等に基づいたご提案をお願いします。場所やスペース等の詳細は未定のため、会場視察後に組織委員会と調整を行います。
26	キッチンカーの手配に関して縛りがあるか確認したい。(福岡の特産物を中心に等)	特に指定や縛りはありません。基本的には提案者のご経験や知見に基づいたご提案をお願いします。
27	損害賠償責任保険・イベント主催者保険について、主催者側から指定される保険金額・条件はあるか確認したい。	『施設賠償責任保険』『施設入場者傷害保険』『ボランティア保険』『スタッフ傷害保険』を想定しています。
28	表彰制作物(メダル・優勝カップ・MVP等)の必要数量(参加12チーム×選手数、順位別等)の詳細を確認したい。	1チーム21名で、表彰の対象は1位から3位までです。現時点で具体的な規定はありませんが、表彰の詳細については、主催者、演出業務受託事業者、および放送局と調整の上で決定します。

29	チケット販売・発券システムの運営主体はどこか確認したい。仕様書6.3.1「チケットもぎり対応」はチケット販売自体を含まないという理解でよいのか。	チケット販売・発券システムの運営主体は、株式会社イープラスを予定しています。 大会運営業務には、チケット販売業務自体は含まれていません。
30	会場周辺の賑わい広場（飲食スペース、キッチンカー）の規模・想定来場者数の目安を確認したい。	日本戦の場合、観客の最大来場者数は6,000～6,500人を想定しています。賑わい広場の場所およびスペースについては、会場視察後に受託事業者からいただくご提案をベースに検討いたします。
31	仕様書別紙で提供されているAVC Riderは抜粋（Appendix E, G, H, J）のみだが、チケットティング・宿泊・輸送・式典・ブランディング等に関する他の付属資料は存在するか。存在する場合、開示は可能か確認したい。	該当する資料は存在します。こちらは受託事業者の選定が完了いたしました後に開示予定です。
32	記録用映像・静止画の納品先・使用目的（大会公式アーカイブ、広報、スポンサー提供等）と、著作権譲渡後の二次利用条件を確認したい。	想定される用途としては、大会ホームページ等での広報利用や、スポンサーへの提供です。それに伴い、納品先はスポンサー各社、大会マーケティング業務受託事業者、大会全体統括業務受託事業者、および組織委員会となる予定です。 また、納品物のご利用条件につきましては、クレジット表記を行うことを前提として、基本的には組織委員会にて自由に使用できる形態とさせていただきます。
33	仕様書6.3「整理誘導」内で項番「6.2.4」が2箇所（会場周辺道路の車両誘導、会場周辺の観客整理誘導）に重複して使用されており、また「6.3.4」も2項目に付されている。項番の誤記か、記載漏れがあるか確認したい。	仕様書の項目番号に一部誤りがありました。以下の通り訂正します。 （誤）『6.2.4 会場周辺の観客整理誘導』『6.3.4 整理誘導スタッフの手配、シフト管理および現場指揮』 （正）『6.3.4 会場周辺の観客整理誘導』『6.3.5 整理誘導スタッフの手配、シフト管理および現場指揮』 なお、6.2.4は『会場周辺道路、駐車場、車両乗降場等の車両誘導・管理』であり、警備員の手配が必要な項目、6.3.4は『会場周辺の観客整理誘導』として観客の来場・退場整理のための整理員が必要な項目、という仕様の違いがあります。
34	「消防申請書類の作成」が6.5.17（会場設営）と6.6.5（電気）の2箇所に記載されている。両部門でそれぞれ別の申請が必要という理解でよいのか、あるいは重複記載か確認したい。	それぞれ別の申請が必要です。『6.5.17』はアリーナの仮設席に関する申請、『6.6.5』は仮設電源に関する申請です。